REBORN OLD TOKAI Electric Guitars

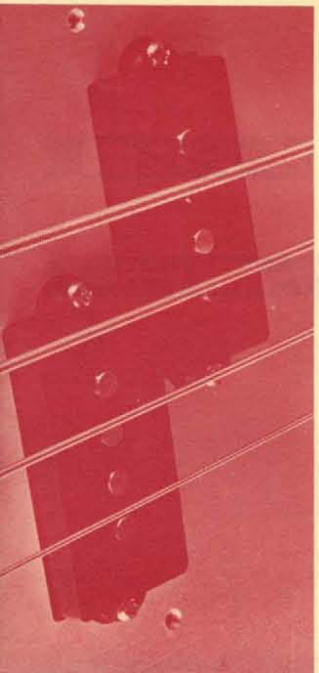
TOKAI GAKKI CO. LTD. 36 TERAWAKICHO, HAMAMATSU JAPAN PHONE:(0534)41-3137

この紙面を読めばトーカイ・プレシジョンベース「ハードパンチャー」のすべてがわかるのだ。ここにはトーカイの本工技術とパーツ造りのすべてが明かされているから、ひと通り読めばキミはもう、ベース通だ。なお、STシリーズ、LSシリーズ、LCシリーズ、SSシリーズについてはELECTRIC GUITAR MANUAL Vol.2を必ず見て欲しい。細部の内容、カラーなどについても、バッチリわかる。

●PB-80 1957年型プレシジョンベースの優れた内容をモデルに製作されたPB-80は発表と同時にベースフリークたちに注目され、その高い完成度はトップベーシストの要求に余裕をもって応えた。1957年モデルの大きな特長だったオールアルミ製ピックガードパネル、オールド風ラッカー仕上げ、ワンピース単板けずりだしボディ、ワンピースメイプルネックなど、優れた内容を盛りこみ、そのうえピックガードパネルには防錆処理加工を施し対策は万全。アルミは材質の特性上、シールド効果をもち外部のノイズは完全にシャットアウトする。パネルデザインも抜群だ。ピックアップには渋くて味わい深いオールドサウンド指向のPB-Aタイプが採用されている。カラーはブロンド、ゴールデンサンバースト、ブラック、ナチュラルがありローズ指板も用意されている。価格は¥80,000 ナチュラル(PB-85N)は¥85,000。

●PB-60 このモデルはベース本来の基本的特性が優れ、ハードなプレイにもビクともしない。堅ビ製3プライピックガードパネル、メイプルワンピースネック、単板けずりだしボディ、オールドサウンド指向のピックアップ。PB-Aタイプの採用など内容はビッシリ。音質の好みによりローズ指板も用意されている。カラーはイエローサンバースト、ブラック、オリンピックホワイト、ナチュラルがあり価格は¥60,000、ナチュラル(PB-65N)は¥65,000。

●PB-48 プレシジョンベースとして、このモデルは非常にコストパフォーマンスに優れベースフリークの要求にも充分、応える事ができる。ピックアップにはタイトなプレシジョンベースサウンドのために、特に開発されたPB-Bタイプが採用されている。もちろんネックはメイプルワンピース、ボディは単板けずりだしだ。カラーはイエローサンバースト、ブラック、オリンピックホワイトがある。価格は¥48,000。



PB-48

PB-48 ¥48,000
イエローサンバースト、ブラック、オリンピックホワイト。せん単板けずりだしボディ、メイプルワンピースネック、3点どめプレート、トルク調整型最高級ペグ、牛骨完全手づくりナット、スプリット型PB-Bタイプのピックアップ。ポリウレタン塗装仕上げ。

PB-60 PB-65N

PB-60 ¥60,000
PB-65N ¥65,000
イエローサンバースト、ブラック、オリンピックホワイト、ナチュラル。せん単板けずりだしボディ、メイプルワンピースネック(ローズ指板もある)、4点どめプレート、トルク調整型最高級ペグ、牛骨完全手づくりナット、スプリット型PB-Aタイプのピックアップ、ポリウレタン塗装仕上げ。

PB-80 PB-85N

PB-80 ¥80,000
PB-85N ¥85,000
ブロンド、ゴールデンサンバースト、ブラック、ナチュラル。
ワンピース せん単板けずりだしボディ、メイプルワンピースネック(ローズ指板もある)、4点どめプレート、トルク調整型最高級ペグ、牛骨完全手づくりナット、スプリット型PB-Aタイプのピックアップ、オールド風ラッカー仕上げ。

PB SERIES HARD PUNCHER

タイトなサウンド、ヘビーでしかも切れ味するどくあらゆる奏法に余裕をもって応えるPBシリーズ、その名も「ハードパンチャー」プレシジョンベースの決定版だ。

STシリーズ、LSシリーズ、LCシリーズに続きトーカイ・エレクトリックギター・プロジェクトチームがキミたちにおくる衝撃の第4弾PBシリーズ。その名もハードパンチャー。KOパンチを秘めたズシリとくるプレシジョンベースの登場だ。1951年、初のエレクトリックベースとして登場したPrecision(正確)Bassは読んで字のごとく正確な音程を得るためにフレットがすえられたベースだった。最初は今ごろいうテレキャスターベースと、ほぼ同一の外観デザインをもっていたが、1957年のモデルチェンジによって画期的な飛躍をとげ、完成されたプレシジョンサウンドを獲得した。ベース2用ピックアップとしては革命的なスプリット型ピックアップの採用、ボディ、ペグヘッド、ピックガードパネルの変更など、すばらしい内容をもって生まれかわった。トーカイのPBシリーズ"ハードパンチャー"は、この1957年モデルを基本にし、さらにグレードアップしたPB-80をはじめ、基本的性能の優れたPB-60、コストパフォーマンスに優れたPB-48と、全3機種が同時に登場し、早くもギターフリークの間ではタイトな音色と切れ味するどいヘビーなサウンドがスゴイ評判だ。しかも優れた演奏性を秘めているから、ビギナーからトップベーシストまで、"あらゆる奏法と要求に余裕をもって応える事ができるベース"なのだ。ベース奏法自体、無限の可能性があり、いろいろなカテゴリーの楽器、音楽を吸収し、新しいベース奏法を確立してほしいのだ。その時、真の力を発揮するのはトーカイのPBシリーズ"ハードパンチャー"をおいて他にない。

VOL.2

アピール●CFマーティンネックと技術を提携、アコウスティックギターファンにはあなじみのキャッツアイ・ギターをクリエイト、他社との追従を許さないトーカイ・バンジョーの発表、さらにピアノ、チェンバロの傑作など数々の実績をもとにエレクトリックギターの開発にのりだしたST、LS、LC、SS、PBの各シリーズ"はギターフリークに圧倒的な相手でむかえられました。ビギナーからトッププロまで、あらゆる要求に応えるトーカイ。ご期待ください。

東海楽器製造株式会社
本社・中部営業所 〒430 浜松市寺脇町36ハ-0534-41-3137
営業所 東京03-563-2451 大阪06-365-0813 福岡092-511-4263 札幌011-723-3328

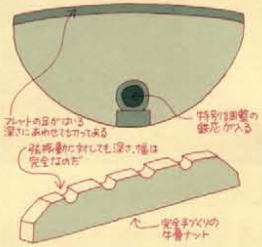
高い完成度を誇る各部の仕様、その一体性と抜群のコンビネーションがタイトな音を生む。PBシリーズの秘密はここだ。

ボディ

PBシリーズの全てが、せん単板けずりだしボディだ。特にPB-80はワンピースになっているボディカロエにはトーカイSTシリーズと同じようにコンピューター制御のNCルーターが使用され、抜群の完成度を誇るボディが生まれた。これは現代の技術力とクラフトマンシップの勝利といっても過言ではない。ここで最もたくみは事はボディカロエのみにNCルーターが使用されたのではなく、ネック、ピックガードパネルのカロエにも使われたことだ。ボディ、ネック、ピックガードパネル、この3者が完全に密着することにより、今までベースの欠点とされていた1弦・2弦の5〜6フレットぐらいまでの、音の不鮮明さを解消し、タイトなプレシジョンベースの音を獲得した。(もちろんフレットのみぞ切りも関係しているが、これはネックの項を参考にしてほしい。)このようにNCルーターによるボディカロエは抜群の結果を生み、その効果は絶大だ。

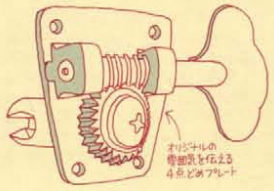
ネック

PBシリーズのネックは全機種がトーカイSTシリーズと同じように優れた剛性をもつメイプルワンピースネックだ。そのうえプレッキングにも、細心の注意がはらわれ、フレットみぞはフレットの足がはいる深さにあわせてセカってある。こうするとフレットはガッチリ安定され、ハドはプレイにもビクともしない。フレットみぞにはスキ間がないわけだから音の伝達という点でも優れ、音質にも非常に良い影響を与え、メイプル材独特のシャープなサウンドが楽しめる。また、弦の張力に耐え、ソリを防止する特別調整の鉄芯が入り対策は万全。ネックのシェイプも理想的でフィンガーワークもスムーズだ。ナットには牛骨を採用し、たっぷり8時間をかけ、仕上げられている。ブリッジ、ポールピースとの関係から極めて正確なナットみぞの位置が決定され、弦振動に対しても深さ、幅は万全だ。ペグヘッドのナイーヴな丸味は風格があり、中でもPB-80は樽がオールド風に集ばメ。なおPB-80、PB-60にはベビーでタイトなサウンドを好むプレイヤーのためにローズ指板も用意されている。



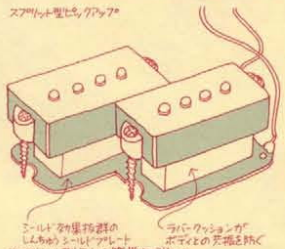
ペグ

3点どめプレートのPB-48、オリジナルプレシジョンベースの雰囲気を伝えてくれる4点どめプレートのPB-80、PB-60、そのどれもがトルク調整型最高級品。微妙なチューニングも確実。抜群のデザインと使用感だ。

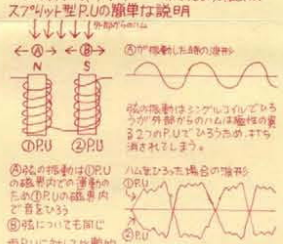


ピックアップ

ピックアップはベースの心臓部だ。優れた性能をもつピックアップがボディと最高のコンビネーションを発揮するとき、プレシジョンベースの表現力は無限となる。PBシリーズにはスプリット型ピックアップが採用され、PB80、PB-60には、PB-Aタイプ、PB-48にはPB-Bタイプが装着されている。スプリット型は基本的にはシングルコイルだが2つ組みあわせる事によってハムバッキング効果をあげる革命的なピックアップだ。(下図の説明を参考) またピックアップを固定しているラバークッションはボディとの共振を防ぎ、裏銅のシールドプレートは抜群のシールド効果を発揮する。A、B両タイプともそれぞれ特性をもち、PB-Aタイプはオールドサウンドをクリエイトするために開発され、コイルの線材もオールドと同じマテリアルが用いられている。あの渋くて深いオールドサウンドでプレイできるわけだ。PB-Bタイプはタイトなプレシジョンベースサウンドのため、特に開発された高性能ピックアップだ。とにかく、どのタイプを選ぶにせよ、キミの要求は100%満たされる。

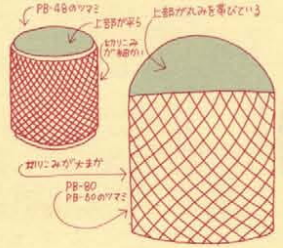


スプリット型P.Uの簡単な説明



ツマミ

PBシリーズのツマミデザインは2種類、用意された。ひとつは上部が平らで側部のセカリこみが細かいPB-48、もうひとつはオールドの雰囲気を伝えてくれるPB-80、PB-60のツマミだ。上部が丸みを帯び、側部のセカリこみも大きかだ。指先の感触もすばらしい。またツマミとパネルとの間隔は0.8mm以内に設計され、お互いに接触しないようになっている。パネルもキズがつかず、ツマミ操作も更にスムーズだ。

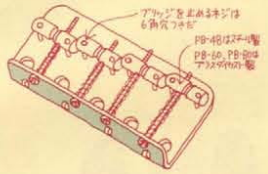


配線シールド部

PBシリーズの配線シールドプレートはトーカイSTシリーズと同じようにブラス製だ。長期にわたりシールド効果を発揮し、耐久力も充分。配線にも手のこんだ配慮がはされノイズアルレジスター(可変抵抗)の性能を低下させないように、レジスターカバーには直接ハンダづけがしてない。この配線部は直接目にふれないから、数あるベースの中には手を抜いたものがかなりある。たとえばシールドプレートに耐久力のないアルミはくを使用したり、ノイズアルレジスターのカバーに直接ハンダづけしたものもあるから注意が必要だ。ベース1本がキミのすべてを表現するわけだからイージーなブランド志向は、さけて、まずゆっくり調べてみよう。(PB-80はアルミピックガードのためブラスプレートはつきません。)

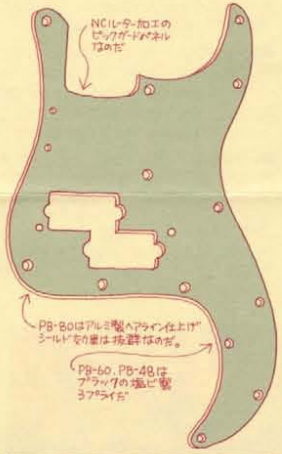
テールピース

PBシリーズのブリッジはPB-48がスチール製、PB-80、PB-60にはブラスダイカスト製が使用されている。ブリッジを止めるネジは6角穴付で強度も充分。ブリッジをふくめテールピース全体の位置もポールピース、ナットの関係から非常な正確さを要求される。もちろんPBシリーズなら安心だ。



ピックガードパネル

PBシリーズのピックガードパネルにはコンピューターによって制御されたNCルーターカロエが施こされ、ボディ、ネックとの一体性は完全だ。PB-80にはアルミ製ヘアライン仕上げがされたピックガードパネルが装着されている。これが1957年型プレシジョンベースの最大特長だったわけだ。アルミのピックガードパネルはそれ自体がシールドパネルでもあり、完全に外部のハム(雑音)をシールドしてくれる。ところがフェンダー社は1957年、1年間のみで製作を中止してしまった。アルミはすばらしい特性をもっているにもかかわらず非常に錆びやすい欠点もあったからだ。トーカイ・プレシジョンベース・プロジェクトチームはオリジナルデザインの雰囲気とアルミの特性を生かすため、防錆処理カロエする事を発想し、より優れたピックガードパネルを完成した。またPB60、PB-48にはブラックの塩ビ製3プライピックガードを採用、外部のハムもパネル内部の裏銅シールドプレートでシャットアウト。とにかくシンプルなボディデザインをグッとひきしめるベビーデューティーなパネルだ。強レッスンをくり返し、ピックガードパネルに穴をあけるぐらいのプレイを期待する。



PBシリーズの付属品

PBシリーズには付属品がついているミュートラバー内臓のテールピースカバーとマイクカバーだ。いずれも好みによって着脱できる。

PBシリーズ「ハードパンチャー」仕様チャート

機種	PB-48	PB-60	PB-65N	PB-80	PB-85N
価格	¥48,000	¥60,000	¥65,000	¥80,000	¥85,000
ボディカラー	YS、BB、OW	YS、BB、OW	N	BL、GS、BB	N
ボディ	せん単板けずりだし	せん単板けずりだし		ワンピースせん単板けずりだし	
ネック	メイプルワンピース	メイプルワンピース、ローズ指板もある		メイプルワンピース、ローズ指板もある	
ペグ	3点どめプレート トルク調整型最高級	4点どめプレート、トルク調整型最高級		4点どめプレート、トルク調整型最高級	
ナット	牛骨完全手づくり	牛骨完全手づくり		牛骨完全手づくり	
ピックアップ	スプリット型 PB-Bタイプ	スプリット型 PB-Aタイプ		スプリット型 PB-Aタイプ	
フィンガーレスト	ブラック 合成樹脂	ブラック・合成樹脂		ローズウッド・オイルフィニッシュ	
塗装	ポリウレタン仕上げ	ポリウレタン仕上げ		オールド風・ラッカー仕上げ	

Tokai Electric Guitar Project Team